

第3章 ごみ収集と処理

第1節 ごみ収集

本市では、昭和27年に本市初のごみ処理施設である焼却場を開設以来、ごみ収集を市街地中心部に限定して行ってきた。その後、埋立処分を中心とした処理を行ってきたが、経済の高度成長期を迎え、年を追うごとに増加するごみ量と公害問題に対応するため、昭和49年に焼却能力の高い宮崎市清掃工場（北部環境美化センター）を建設したのを機に、燃やせるごみと燃やせないごみの分別、路線別の戸別収集を開始し、昭和53年からは収集区域を市全域に拡大した。また、事業所ごみ及び家庭の臨時多量ごみについては、平成3年10月から直営収集から許可業者による収集に切り替えている。

現在、家庭ごみの収集については、燃やせるごみを週2回、燃やせないごみを月1回、資源物は分別区分ごとに週1回、または月1～4回を定曜日に行っている。収集方式は戸別収集からステーション方式へと移行することとし、現在もステーション化に向け取り組んでいる。さらに、資源物の収集については、平成10年4月から缶・びん類、平成12年4月からペットボトルやプラスチック製容器包装を業者委託による収集で実施してきた。

また、直営収集担当事務所については、平成24年3月に中部事務所を、平成27年3月に東部事務所をそれぞれ閉鎖した。

ごみの有料化については、ごみの排出抑制と、処理にかかる費用負担の公平性を目的に、平成13年4月に粗大ごみの収集運搬を有料化し、平成14年6月には、燃やせるごみと燃やせないごみを有料化した。

合併した4町については、全ての家庭ごみについて委託収集を行ってきた従前の収集体制を引き継ぐほか、合併前に有料化を実施していなかったことから、合併による急激な変化を避けるため、移行期間を設けて有料化を実施し、清武町域を除く3町では、平成23年1月に燃やせるごみと燃やせないごみを、同年4月に粗大ごみを有料化した。なお、清武町域では、平成27年3月に燃やせるごみと燃やせないごみを、平成27年7月に粗大ごみを有料化した。

旧宮崎市域においては、収集区域が285地区に細分化されていて、同じ町名でも道路の境界等により収集区域が異なり、非常に分かりにくいなどの課題があった。そこで、課題を解消するため、平成31年4月から旧宮崎市域を4つの収集エリアに整理統合し、日程変更を行った。同時に、旧宮崎市域における家庭ごみの全てを委託収集へと変更した。これにより、宮崎市全域の家庭ごみの全てが委託収集へ移行した。

また、宮崎市全域の家庭ごみが委託収集へ移行したことに伴い、これまで直営収集を行っていた南部事務所については公的施設のみ収集を行うこととなった。

令和3年4月から公的施設のうち、一部の小中学校を除き、旧市の小中学校の収集を委託収集へ移行した。

令和6年4月からは、本庁舎、第二・第三・第四庁舎を除く公的施設の収集を委託収集へ移行した。

委託収集車両数

(令和6年4月1日現在) 単位：台

車 種	積 載 量							計
	0.35t	～2.0t	～2.25t	～2.5t	～2.75t	～3.0t	3.0t 超	
パッカー車	0	14	13	8	10	20	74	139
普通トラック	0	27	0	0	0	23	6	56
軽ダンプ	0	3	0	0	0	0	0	3
軽トラック	10	1	0	0	0	0	0	11
計	10	45	13	8	10	43	80	209

※R6年度から集計方法を変更した。(変更前：専用車のみ → 変更後：兼用車を含む)

公的施設収集車両数

(令和6年4月1日現在) 単位：台

車 種	積 載 量							計
	0.35t	～2.0t	～2.25t	～2.5t	～2.75t	～3.0t	3.0t 超	
パッカー車	0	3	0	0	0	0	0	3
普通トラック	0	1	0	0	0	0	0	1
軽ダンプ	4	0	0	0	0	0	0	4
計	4	4	0	0	0	0	0	8

宮崎市公的施設収集担当事務所

名 称	南部事務所
所 在 地	宮崎市古城町大谷 2522-3
敷地面積	3,382m ²
建物面積	1 階 (車庫・倉庫) 937m ²
	2 階 (事務所他) 857m ²
	計 1,794m ²
建物構造	1 階：鉄筋コンクリート造 2 階：鉄骨造
完成 年月日	平成7年8月28日

第2節 焼却処理

1 概況

本市では、昭和27年に祇園ごみ焼却場（バッチ式30t／日）を開設し、燃やせるごみを処理してきたが、ごみ量の増加に伴い昭和36年には古城ごみ焼却場（バッチ式22t／日）を、昭和49年には北部環境美化センター（連続燃焼式270t／日）を整備し、直営による焼却処理を行ってきた。

その後、急激な人口増加や、昭和53年に収集区域を市内全域に拡大したことなどにより、ごみ排出量が年々増加してきたことから、粗大ごみを破砕するためのギロチン式破砕機（70t／5h）を併設した南部環境美化センター（連続燃焼式300t／日）を昭和58年に建設し、安定的かつ、排ガス対策・排水対策・熱回収発電による環境負荷を抑えたごみ処理を行ってきた。

宮崎県ごみ処理広域化計画（平成11年3月策定）に基づき、連続燃焼によるダイオキシン類の排出削減対策、安定的焼却処理の確保等を目的として近隣11自治体で整備を進めてきた廃棄物処理センター「エコクリーンプラザみやざき」焼却施設が平成17年6月より試運転を開始（本格供用開始：同年11月）したことに合わせ、平成17年7月から焼却処理を南部環境美化センターからエコクリーンプラザみやざきへ移行している。

エコクリーンプラザみやざき焼却施設では、ダイオキシン類対策として燃焼ガスの急冷、吸着除去や、バグフィルタ・触媒脱硝装置によるばいじん・塩化水素・硫黄酸化物・窒素酸化物の除去、施設内発生汚水を施設内で再利用する等の公害防止設備を備え、焼却により発生する熱、蒸気を利用した高効率の余熱利用発電も行っている。

また、併設した灰溶融炉により、焼却灰の溶融・固化を行い、焼却残さによる最終処分場残容量の圧迫緩和に寄与していたが、平成25年3月の爆発事故以降、溶融・固化処理を停止し、平成27年3月、灰溶融設備を廃止した。

なお、編入合併した周辺4町のうち、佐土原町域については旧宮崎市域と同じくエコクリーンプラザみやざきで（平成18年6月搬入開始）、田野、高岡、清武町域については一部事務組合である宮崎県中部地区衛生組合運営のごみ焼却施設「^{ゆすのきばし}柞木橋環境衛生センター」（平成21年2月まで稼動）で、域内における燃やせるごみの処理を行っていたが、平成21年3月からはすべてエコクリーンプラザみやざき焼却施設で焼却処理を行っている。

2 令和5年度エコクリーンプラザみやざき発電実績

	発電電力量	消費電力量	買電電力量		売電電力量	
	(kWh)	(kWh)	量(kWh)	料金(円)	量(kWh)	料金(円)
施設全体	61,556,820	31,060,356	739,968	89,696,481	31,236,432	502,228,459

※ 集計期間：令和5年3月1日から令和6年2月29日まで

3 ごみ質分析結果（令和5年度）

（1）ごみ三成分

単位：％

成 分	水 分	可燃物	灰 分	計
割 合	48.22	47.44	4.34	100.0

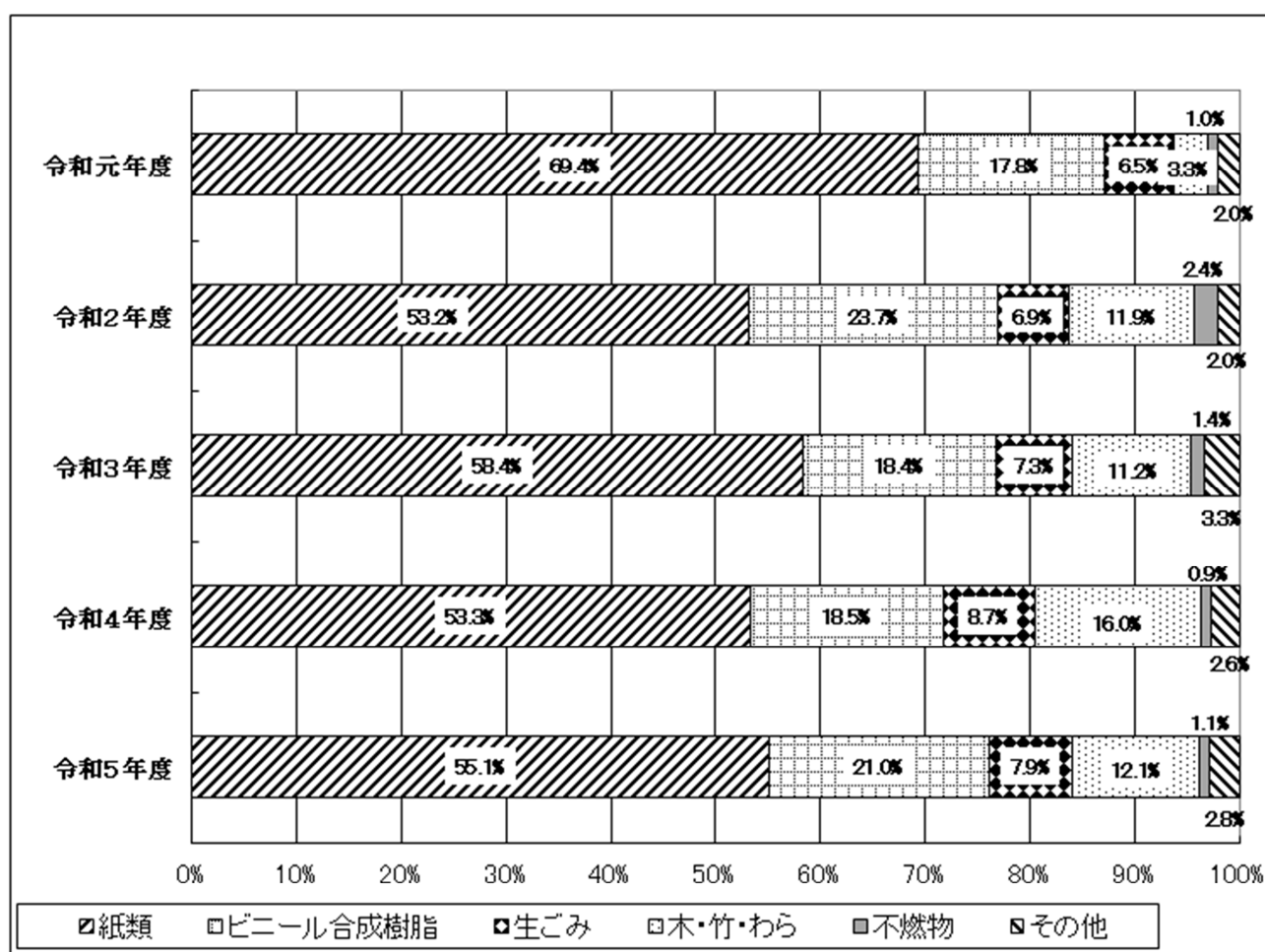
※エコクリーンプラザみやざき焼却施設の投入ピット内における分析

（2）乾ごみ組成

単位：％

組 成	紙 類	ビニール 合成樹脂類	生ごみ類	木・竹 わら類	不燃物類	その他	計
割 合	55.1	21.0	7.9	12.1	1.1	2.8	100.0

※エコクリーンプラザみやざき焼却施設の投入ピット内における分析



第3節 埋立処分

従来、燃やせないごみは、自家処理されてきたが、ごみ量の増加に伴い、各家庭での対応が困難になってきたことから、昭和39年に小規模な埋立場を開設した。しかしながら、ごみ量の増加が顕著となり、昭和43年から市内北部山間地に大規模な萩の台不燃物埋立場を整備し、昭和49年に清掃工場（北部環境美化センター）が完成するまで、燃やせるごみと燃やせないごみの混合埋立により処理を行ってきた。

萩の台不燃物埋立場は、第1期、第2期の埋立を経て、昭和63年9月にごみの埋立を終了したが、埋立場の跡地利用を促進するため、平成4年7月から公共事業等で発生する残土の搬入を行い、平成18年4月、萩の台公園として供用を開始し、市民の憩いの場として生まれ変わっている。

昭和63年10月には、市内西部山間地に、総面積208,000㎡、埋立容量1,280,000㎡を有し、処理能力535㎥/日の汚水処理施設を備えた、たらのき台不燃物埋立場を開設し、燃やせないごみのセル方式による埋立処分を行ってきたが、エコクリーンプラザみやざき管理型最終処分場の開設に伴い、たらのき台不燃物埋立場の埋立を終了し、平成25年度で最終覆土が終了した。

平成17年11月に供用を開始したエコクリーンプラザみやざき管理型最終処分場は、埋立面積54,600㎡、埋立容量577,000㎥を有し、施設内焼却施設から発生する飛灰固化物等のほか、リサイクル施設より発生する残さ物及び不燃物のうち、中間処理ができない直接埋立物等をセル方式により埋立を行っている。

平成18年の合併により、編入した3町がそれぞれ管理・整備を行ってきた、佐土原町一般廃棄物埋立処理場、田野町一般廃棄物最終処分場、高岡町一般廃棄物最終処分場、平成22年の合併により清武町が管理・整備してきた清武町一般廃棄物最終処分場がそれぞれ新たに宮崎市の施設として加わり、エコクリーンプラザみやざきで発生した焼却灰及びリサイクル残さ物の埋立処分を行っている。

第4節 再資源化

1 缶・びん・金属類

平成3年5月、たらのき台不燃物埋立場内に民間業者が宮崎市リサイクルセンターを開設したのを機に、缶・びん類・金属類の資源物の回収を開始した。開設当初は、たらのき台不燃物埋立場へ搬入された燃やせないごみの中から缶・びん類・金属類を回収し、資源化を行っていたが、平成3年10月からは88カ所のモデル地区において資源物回収を開始している。平成4年4月には市内全域を対象に月1回「資源の日」を設定して、本格的な分別収集を開始し、平成5年4月には「資源の日」を月2回に変更している。なお、金属類については平成17年7月のエコクリーンプラザみやざき開設に伴い、収集効率の観点から燃やせないごみとの混載にて回収している。また、選別や圧縮などの中間処理は宮崎市リサイクルセンターに委託して行ってきたが、びん類については、平成14年度から公益財団法人日本容器包装リサイクル協会との契約に基づき、再商品化事業者へ引き渡している。

平成17年7月からは中間処理をエコクリーンプラザみやざきリサイクル施設で行っている。

なお、回収した金属は売却して収入となっているが、びん類は売却できないため、処分費用を支払い処理している。

缶・びん・金属類資源回収量

単位：t

年度	搬入量	資源化量			
		缶類	びん類	その他金属類	計
令和元	10,481	1,051	1,015	1,751	3,817
2	11,254	1,059	1,116	1,953	4,129
3	11,431	1,012	1,172	1,875	4,058
4	11,493	1,062	987	1,799	3,848
5	11,331	951	859	1,670	3,480

※「搬入量」とは、集団回収量を除くごみ量のことである。

※「搬入量」及び「その他金属類」の資源化量には、燃やせないごみ・不燃性粗大ごみによる資源化量も含んでいる。以下の資源化実績も同様。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

【参考】令和5年度 区域別缶・びん資源化実績

単位：t

区域	搬入量	資源化量		
		缶類	びん類	計
旧宮崎市	2,983	768	694	1,462
佐土原町	257	66	59	125
田野町	103	26	24	50
高岡町	116	30	27	57
清武町	240	62	56	118
計	3,697	951	859	1,812

※「搬入量」とは、集団回収量を除くごみ量のことである。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

【参考】令和5年度 区域別燃やせないごみ・金属類・不燃性粗大ごみ資源化実績 単位：t

区域	搬入量		資源化量 (金属回収量)
	燃やせないごみ・金属類	不燃性粗大ごみ	
旧宮崎市	4,756	1,122	1,286
佐土原町	692	151	185
田野町	160	33	43
高岡町	186	47	51
清武町	402	85	104
計	6,196	1,438	1,670

※「搬入量」とは、集団回収量を除くごみ量のことである。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

2 古紙・衣類

平成3年4月にごみ減量を推進するため、「古紙回収事業」を開始した。平成7年4月からは、「宮崎地区製紙原料直納協同組合」に古紙・古布の収集運搬及び中間処理を委託しており、平成10年4月から新聞紙、雑誌類、ダンボールの収集に加えて、紙パックの分別収集を開始した。

なお、平成31年4月からは、古布のうち衣類のみを回収している。

古紙・衣類種類別資源回収量

単位：t

年度	古紙				衣類	計	資源化量
	新聞紙	雑誌類	ダンボール	紙パック			
令和 元	3,258	4,730	2,188	48	1,449	11,674	11,649
2	2,585	4,406	2,471	48	1,390	10,898	10,878
3	2,482	4,334	2,590	46	1,311	10,763	10,753
4	2,298	4,127	2,629	41	1,178	10,273	10,264
5	1,925	3,779	2,523	33	1,089	9,349	9,336

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

【参考】令和5年度区域別実績内訳

単位：t

区域	古紙				衣類	計
	新聞紙	雑誌類	ダンボール	紙パック		
旧宮崎市	1,668	3,187	2,134	29	902	7,920
佐土原町	53	129	93	1	66	341
田野町	52	86	65	1	22	225
高岡町	48	89	56	0.4	26	219
清武町	104	288	176	3	74	644
計	1,925	3,779	2,523	33	1,089	9,349

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

※エコクリーンプラザみやざきへの直接搬入分については各区域に按分している。

3 ペットボトル・プラスチック製容器包装

平成12年4月の容器包装リサイクル法の完全施行に伴い、平成12年度からペットボトル及びプラスチック製容器包装の一部について分別収集を開始した。

分別収集したこれらの資源物は、民間業者が開設した宮崎資源化施設に圧縮・梱包の中間処理を委託し、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会との契約に基づき、再商品化事業者へ引き渡してきた。

平成17年7月からは中間処理委託先をエコクリーンプラザみやざきへ移行した。これに伴い白色・色柄トレイ、発泡スチロールのみを対象としてきた「その他プラスチック製容器包装」の分別を変更し、従来燃やせないごみとして埋立処理を行ってきたプラスチック製容器包装リサイクルの完全実施を開始した。

このことにより、直接埋立量の大幅な減少が見られ、分別の徹底が更に進むことにより、更なる最終処分量の低減が図られている。

なお、回収したペットボトルは売却して収入となっているが、プラスチック製容器包装は売却できないため、処分費用を負担し処理を委託している。

ペットボトル・プラスチック製容器包装 資源回収量

単位：t

年度	搬入量	資源化量		
		ペットボトル	プラスチック製容器包装	計
令和元	5,448	1,252	2,893	4,145
2	5,625	1,267	2,935	4,202
3	5,775	1,282	3,053	4,335
4	5,771	1,346	3,016	4,362
5	5,651	1,322	2,979	4,301

※「搬入量」とは、集団回収量を除くごみ量のことである。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

【参考】令和5年度区域別実績内訳

単位：t

区域	搬入量	資源化量		
		ペットボトル	プラスチック製容器包装	計
旧宮崎市	4,542	1,056	2,402	3,458
佐土原町	435	96	235	331
田野町	126	33	62	95
高岡町	167	42	86	127
清武町	381	95	195	290
計	5,651	1,322	2,979	4,302

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

4 乾電池・蛍光灯

乾電池は平成11年3月までは市民一斉清掃などにより年2回の回収であったが、平成11年4月からは毎月1回、市役所、地域センター、地域事務所、公立公民館や小中学校などでの拠点回収に変更している。さらに、平成27年4月からは「その他の資源物」として収集を開始した。

蛍光灯は平成17年7月から月1回の回収を開始している。

回収した乾電池、蛍光灯はともにエコクリーンプラザみやざきで一時保管し、定期的に処理委託業者へ搬出し、水銀の適正処理を図りつつ、再生利用を行っている。

乾電池回収量 単位：t

年度	回 収 量	資源化量
令和 元	108	115
2	102	114
3	98	98
4	95	111
5	90	89

蛍光灯回収量 単位：t

年度	回 収 量	資源化量
令和 元	25	26
2	22	21
3	19	22
4	17	26
5	15	20

【参考】令和5年度区域別実績内訳

乾電池回収量 単位：t

区域	回 収 量	資源化量
旧宮崎市	72	72
佐土原町	6	6
田 野 町	3	3
高 岡 町	3	3
清 武 町	5	5
計	90	89

蛍光灯回収量 単位：t

区域	回 収 量	資源化量
旧宮崎市	12	17
佐土原町	1	1
田 野 町	0	1
高 岡 町	0	0
清 武 町	1	1
計	15	20

※回収後、資源化について翌年度に行うことがあるため、資源化量が回収量を上回ることがある。

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

第5節 ごみ処理実績

1 ごみ・資源物処理の推移と内訳

単位：t

年度 区分			元	2	3	4	令和5年度		
							計	旧宮崎市	4町
A. 行政区域人口（人）			401,293	400,816	399,876	397,898	395,060	310,491	84,569
年間 処理 量	B. 燃やせるごみ	直営・委託	68,009	68,310	67,505	67,052	64,189	50,887	13,302
		直接搬入	44,043	39,605	39,653	40,806	40,649	35,982	4,667
		計	112,052	107,914	107,158	107,861	104,838	86,868	17,970
	C. 燃やせないごみ	直営・委託	2,919	3,336	3,147	2,937	2,758	2,258	501
		直接搬入	2,543	2,675	3,069	3,331	3,437	2,498	939
		計	5,463	6,011	6,216	6,267	6,196	4,756	1,440
	D. 粗大ごみ	直営・委託	291	319	345	327	289	289	0
		直接搬入	2,151	2,614	2,651	2,849	2,897	2,189	708
		計	2,441	2,933	2,996	3,176	3,187	2,478	708
	E. 資源物	直営・委託	20,767	20,322	20,291	19,701	18,518	15,275	3,243
		直接搬入	543	352	272	240	234	223	11
		乾電池	108	102	98	95	90	72	17
		蛍光管	25	22	19	17	15	12	3
		破砕困難物	4	6	15	14	13	11	2
		廃食用油	7	9	10	8	9	9	-
		計	21,453	20,812	20,704	20,074	18,879	15,603	3,276
	F. 集団回収	有価物	1,189	959	902	835	785	785	-
		廃食用油	13	10	8	7	7	7	-
		計	1,202	969	910	841	791	791	-
G. 総処理量(B+C+D+E+F)			142,612	138,640	137,984	138,220	133,890	110,497	23,393
H. 1日あたり排出量(G/365or366)			390	380	378	379	366	302	64
I. 1人1日あたり排出量(H/A)（g）			971	948	945	952	926	972	756
J. 前年度からの資源繰越量			9	10	4	13	10	8	2
K. 資源化量			21,830	21,178	21,012	20,268	18,840	15,684	3,156
L. 資源残さ量			1,860	2,156	1,260	749	714	37	677
M. 資源化率（リサイクル率）（K/G）（%）			15.3	15.3	15.2	14.7	14.1		
N. 焼却灰等			14,409	14,400	14,389	14,721	14,120	9,673	4,447
O. 埋立量			16,457	16,746	15,835	15,787	15,064	9,890	5,174
P. 焼却量			147,587	140,520	139,223	138,177	137,373		

※「A. 行政区域人口」は、翌年4月1日現在の住基人口。

※「C. 燃やせないごみ」は、金属と4町処分場の直接搬入の埋立ごみを含む。

※家電4品目・廃パソコンは、「E. 資源物」の直営・委託に計上。

※「E. 資源物」と「F. 集団回収」の廃食用油は、旧宮崎市の排出量として計上。また、平成27年度以降は体積から重量への換算係数(0.90)を用いて計上。

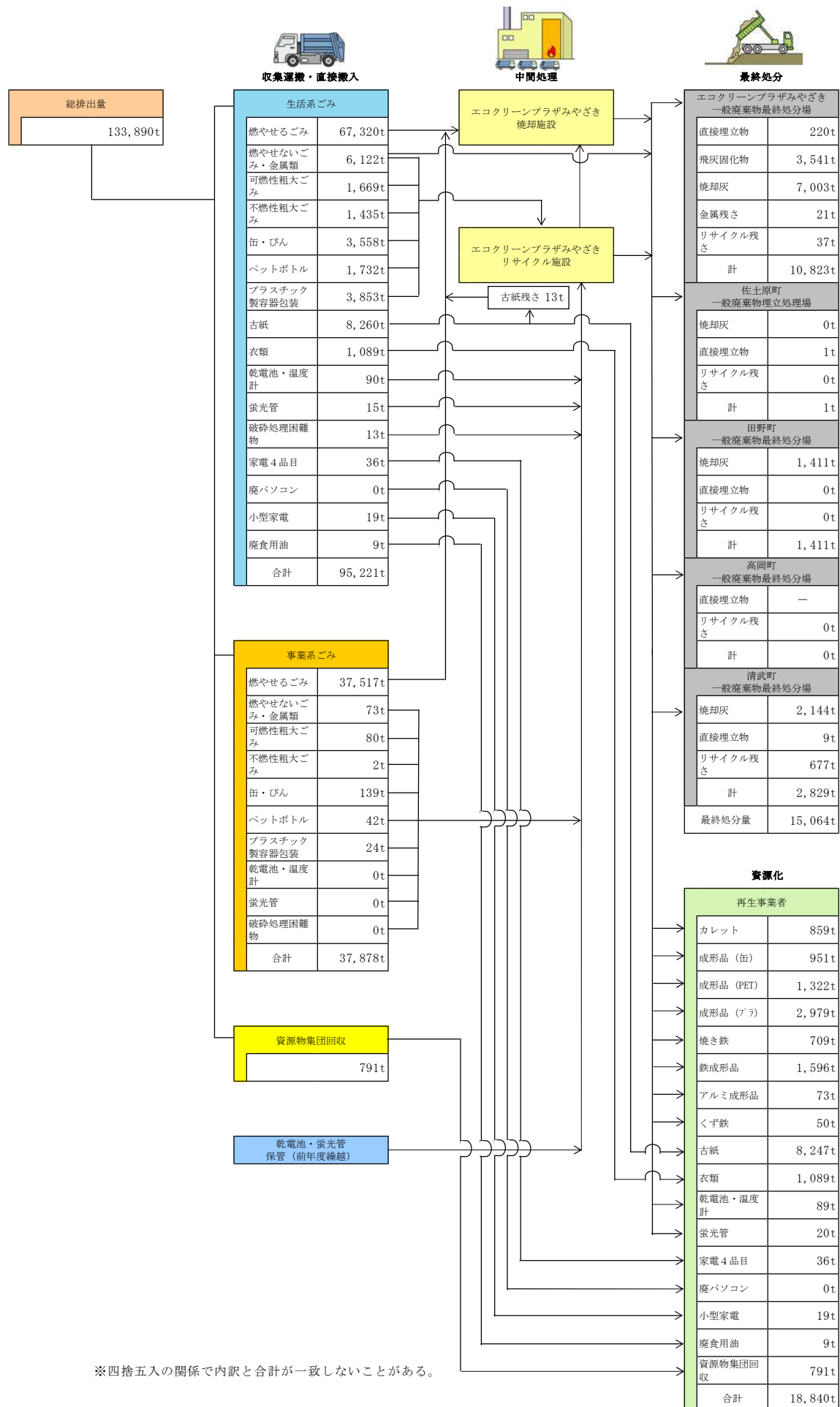
※「F. 集団回収」は、資源物集団回収推進事業に伴う回収量。旧宮崎市の排出量として計上。

※「J. 前年度からの資源繰越量」は、計のみ計上。

※「K. 資源化量」は「F. 集団回収」を含む。

※四捨五入の関係で、内訳と合計が一致しないことがある。

2 令和5年度ごみ・資源物処理フロー（宮崎市全体）



3 令和5年度ごみ・資源物処理内訳（宮崎市全体）

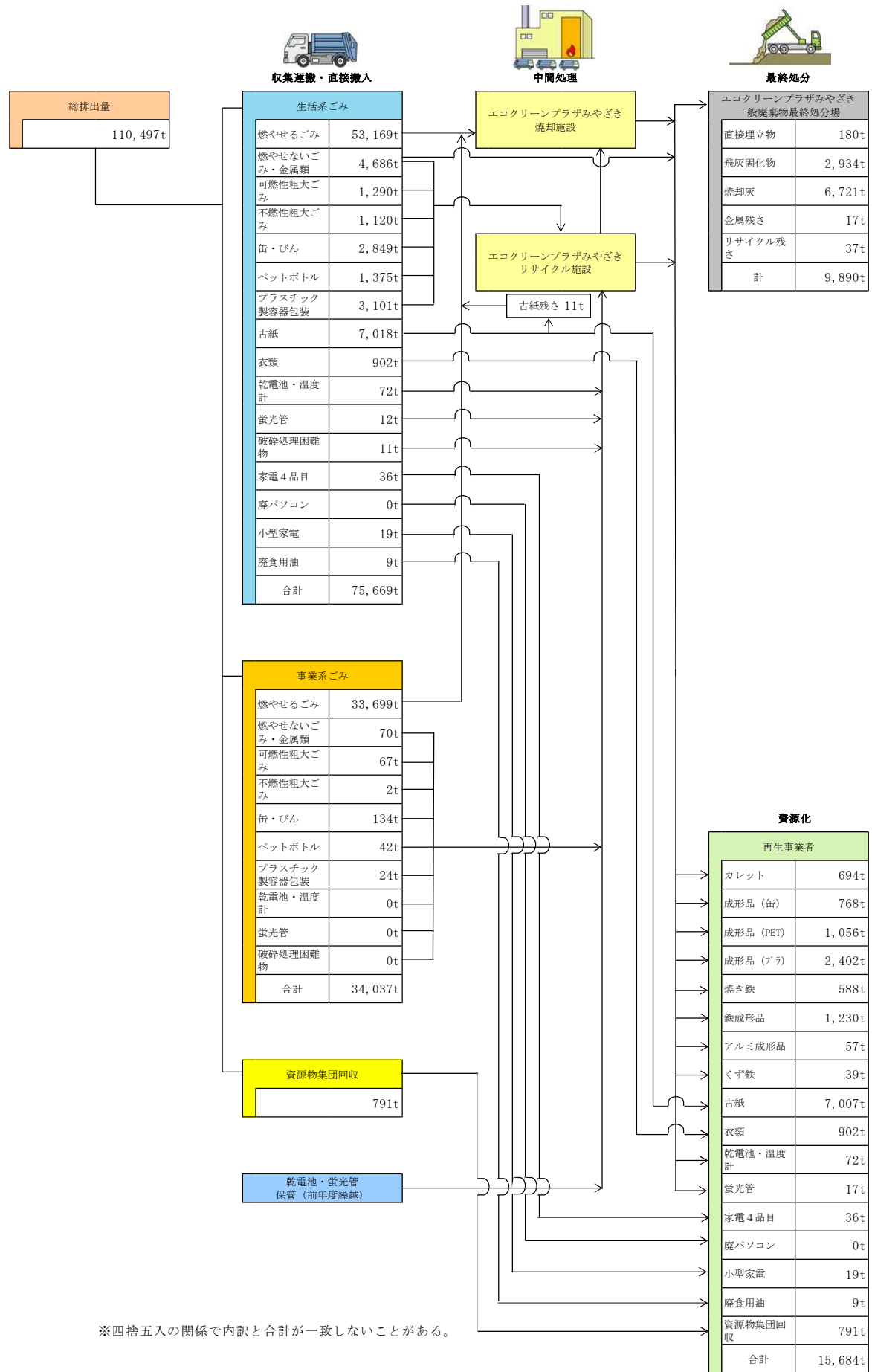
①生活系		単位:t	
燃やせるごみ	直営		163
	委託		64,026
	直接搬入		3,132
燃やせないごみ （金属類含む）	直営		10
	委託		2,749
	直接搬入		3,364
粗大ごみ	可燃性	直営	0
		委託	119
		直接搬入	1,550
	不燃性	直営	0
		委託	170
		直接搬入	1,265
資源物	缶・びん	直営	3
		委託	3,553
		直接搬入	2
		計	
	ペットボトル	直営	3
		委託	1,727
		直接搬入	2
		計	
	プラスチック製 容器包装	直営	6
		委託	3,847
		直接搬入	0
		計	
	古紙	委託	8,238
		直接搬入	22
	衣類	委託	1,086
		直接搬入	3
	乾電池・温度計	直営	2
		委託	88
		直接搬入	0
	蛍光灯	直営	0
		委託	15
		直接搬入	0
	破碎処理困難物	直営	0
		委託	13
	家電4品目	委託	36
	廃パソコン	委託	0
	小型家電	直営	19
	廃食用油	委託	9
生活系総計			95,221

②事業系		単位:t	
燃やせるごみ	許可業者		26,262
	直接搬入		11,256
燃やせないごみ （金属類含む）	許可業者		27
	直接搬入		46
粗大ごみ	可燃性	許可業者	18
		直接搬入	62
		計	
	不燃性	許可業者	1
		直接搬入	2
		計	
資源物	缶・びん	許可業者	139
		直接搬入	0
		計	
	ペットボトル	許可業者	41
		直接搬入	1
	プラスチック製	許可業者	22
		直接搬入	2
	乾電池・温度計	許可業者	0
		直接搬入	0
	蛍光灯	許可業者	0
		直接搬入	0
	破碎処理困難物	直接搬入	0
事業系総計			37,878

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

③合計（①+②）			単位t	
燃やせるごみ		直営	163	
		委託	64,026	
		許可業者	26,262	
		直接搬入	14,387	
		計	104,838	
燃やせないごみ （金属類含む）		直営	10	
		委託	2,749	
		許可業者	27	
		直接搬入	3,410	
		計	6,196	
粗大ごみ	可燃性	直営	0	
		委託	119	
		許可業者	18	
		直接搬入	1,612	
		計	1,749	
	不燃性	直営	0	
		委託	170	
		許可業者	1	
		直接搬入	1,267	
		計	1,438	
	計		3,187	
	資源物	缶・びん	直営	3
			委託	3,553
許可業者			139	
直接搬入			2	
計			3,697	
ペットボトル		直営	3	
		委託	1,727	
		許可業者	41	
		直接搬入	3	
		計	1,774	
プラスチック製 容器包装		直営	6	
		委託	3,847	
		許可業者	22	
		直接搬入	2	
		計	3,877	
古紙		委託	8,238	
		直接搬入	22	
		計	8,260	
衣類		委託	1,086	
		直接搬入	3	
		計	1,089	
乾電池・温度計		直営	2	
		委託	88	
		許可業者	0	
		直接搬入	0	
		計	90	
蛍光管		直営	0	
		委託	15	
		許可業者	0	
		直接搬入	0	
		計	15	
破碎処理困難物		直営	0	
	委託	13		
	直接搬入	0		
	計	13		
家電4品目		委託	36	
廃パソコン		委託	0	
小型家電		直営	19	
廃食用油		委託	9	
計			18,879	
収集量総計			133,099	
集団回収量			791	
収集量総計（集団回収量を含む）			133,890	

4 令和5年度ごみ・資源物処理フロー（旧宮崎市域）



5 令和5年度ごみ・資源物処理内訳表（旧宮崎市域）

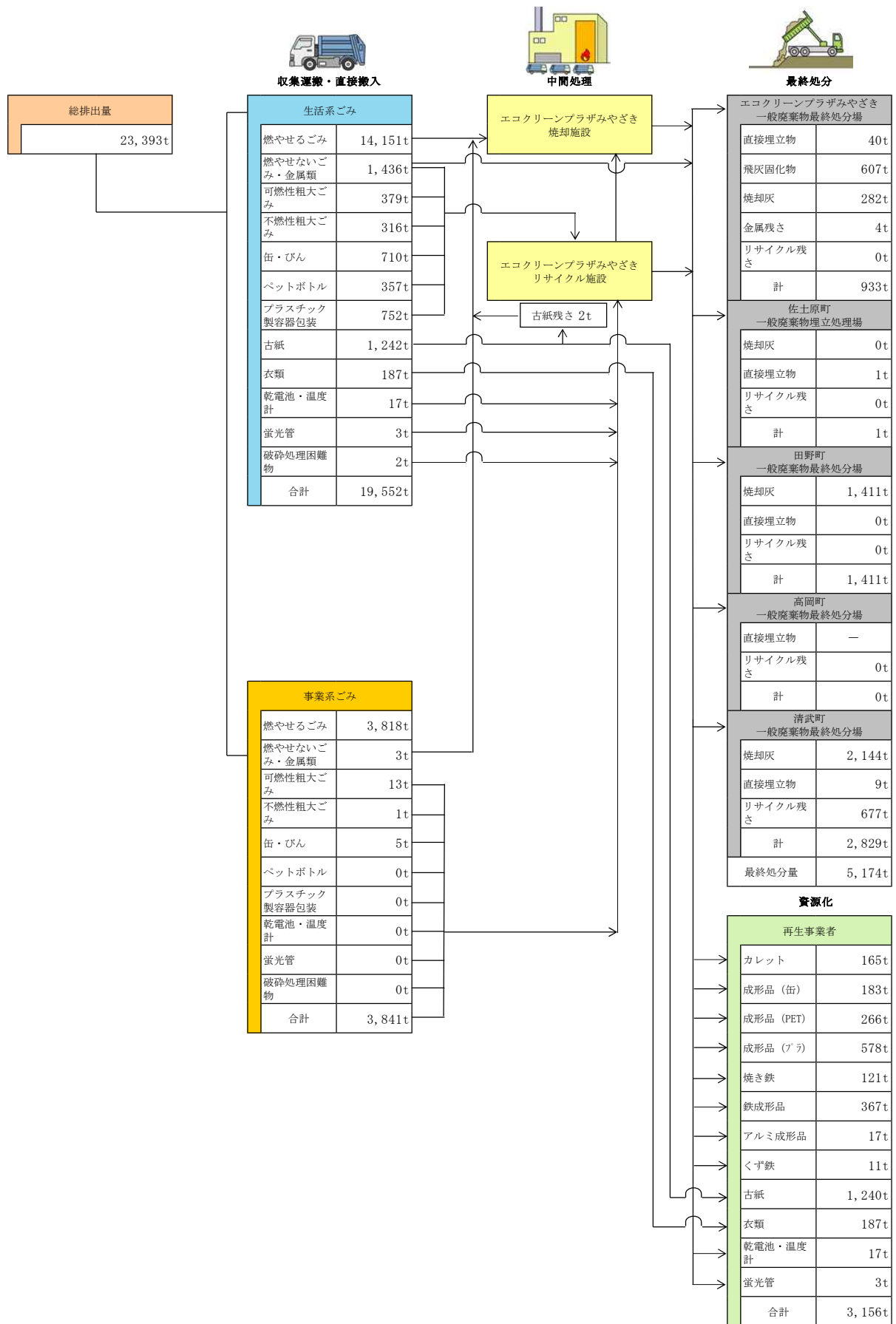
①生活系		単位:t	
燃やせるごみ	直営		163
	委託		50,724
	直接搬入		2,283
燃やせないごみ （金属類含む）	直営		10
	委託		2,248
	直接搬入		2,429
粗大ごみ	可燃性	直営	0
		委託	119
		直接搬入	1,171
	不燃性	直営	0
		委託	170
		直接搬入	949
資源物	缶・びん	直営	3
		委託	2,844
		直接搬入	1
		計	
	ペットボトル	直営	3
		委託	1,370
		直接搬入	1
	プラスチック製 容器包装	直営	6
		委託	3,095
		直接搬入	0
	古紙	委託	6,999
		直接搬入	18
	衣類	委託	900
		直接搬入	3
	乾電池・温度計	直営	2
		委託	71
		直接搬入	0
	蛍光灯	直営	0
		委託	12
		直接搬入	0
	破碎処理困難物	直営	0
		委託	11
	家電4品目	委託	36
	廃パソコン	委託	0
	小型家電	直営	19
	廃食用油	委託	9
生活系総計			75,669

②事業系		単位:t	
燃やせるごみ	許可業者		25,004
	直接搬入		8,696
	計		
燃やせないごみ （金属類含む）	許可業者		27
	直接搬入		43
	計		
粗大ごみ	可燃性	許可業者	18
		直接搬入	49
		計	
	不燃性	許可業者	1
		直接搬入	1
		計	
資源物	缶・びん	許可業者	134
		直接搬入	0
		計	
	ペットボトル	許可業者	41
		直接搬入	1
	プラスチック製 容器包装	許可業者	22
		直接搬入	2
	乾電池・温度計	許可業者	0
		直接搬入	0
	蛍光灯	許可業者	0
		直接搬入	0
	破碎処理困難物	直接搬入	0
事業系総計			34,037

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

③全体（①+②）		単位:t	
燃やせるごみ	直営		163
	委託		50,724
	許可業者		25,004
	直接搬入		10,978
	計		86,868
燃やせないごみ （金属類含む）	直営		10
	委託		2,248
	許可業者		27
	直接搬入		2,471
	計		4,756
粗大ごみ	可燃性	直営	0
		委託	119
		許可業者	18
		直接搬入	1,220
		計	1,357
	不燃性	直営	0
		委託	170
		許可業者	1
		直接搬入	951
		計	1,122
	計		2,478
資源物	缶・びん	直営	3
		委託	2,844
		許可業者	134
		直接搬入	2
		計	2,983
	ペットボトル	直営	3
		委託	1,370
		許可業者	41
		直接搬入	2
	プラスチック製 容器包装	直営	6
		委託	3,095
		許可業者	22
		直接搬入	2
	古紙	委託	6,999
		直接搬入	18
		計	7,018
	衣類	委託	900
		直接搬入	3
		計	902
	乾電池・温度計	直営	2
		委託	71
		許可業者	0
		直接搬入	0
	蛍光灯	直営	0
		委託	12
		許可業者	0
		直接搬入	0
	破碎処理困難物	直営	0
		委託	11
		直接搬入	0
		計	11
	家電4品目	委託	36
	廃パソコン	委託	0
	小型家電	直営	19
	廃食用油	委託	9
	計		15,603
収集量総計			109,706

6 令和5年度ごみ・資源物処理フロー（佐土原町、田野町、高岡町、清武町域）



※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

7 令和5年度ごみ・資源物処理内訳（佐土原町、田野町、高岡町、清武町域）

①生活系		単位:t	
燃やせるごみ		委託	13,302
		直接搬入	849
燃やせないごみ (金属類含む)		委託	501
		直接搬入	936
粗大ごみ	可燃性	委託	0
		直接搬入	379
	不燃性	委託	0
		直接搬入	316
資源物	缶・びん	委託	709
		直接搬入	1
	ペットボトル	委託	357
		直接搬入	0
	プラスチック製 容器包装	委託	752
		直接搬入	0
	古紙	委託	1,239
		直接搬入	3
	衣類	委託	187
		直接搬入	1
	乾電池・温度計	委託	17
		直接搬入	0
	蛍光管	委託	3
		直接搬入	0
	破砕処理困難物		委託
生活系総計			19,552

②事業系		単位:t		
燃やせるごみ	許可業者	1,258		
	直接搬入	2,560		
燃やせないごみ (金属類含む)	許可業者	0		
	直接搬入	3		
粗大ごみ	可燃性	許可業者	0	
		直接搬入	13	
	不燃性	許可業者	0	
		直接搬入	1	
	資源物	缶・びん	許可業者	5
			直接搬入	0
ペットボトル		許可業者	0	
		直接搬入	0	
プラスチック製 容器包装		許可業者	0	
		直接搬入	0	
乾電池・温度計		許可業者	0	
		直接搬入	0	
蛍光管		許可業者	0	
		直接搬入	0	
事業系総計		3,841		

③全体 (①+②)			単位:t
燃やせるごみ		委託	13,302
		許可業者	1,258
		直接搬入	3,409
		計	17,970
燃やせないごみ (金属類含む)		委託	501
		許可業者	0
		直接搬入	939
		計	1,440
粗大ごみ	可燃性	委託	0
		許可業者	0
		直接搬入	392
		計	392
	不燃性	委託	0
		許可業者	0
		直接搬入	316
		計	316
	計		708
	資源物	缶・びん	委託
許可業者			5
直接搬入			1
計			715
ペットボトル		委託	357
		許可業者	0
		直接搬入	0
		計	357
プラスチック製 容器包装		委託	752
		許可業者	0
		直接搬入	0
		計	752
古紙		委託	1,239
		直接搬入	3
		計	1,242
衣類		委託	187
		直接搬入	1
		計	187
乾電池・温度計		委託	17
		許可業者	0
		直接搬入	0
		計	17
蛍光管		委託	3
		許可業者	0
		直接搬入	0
		計	3
破砕処理困難物		委託	2
計		3,276	
収集量総計			23,393

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

第4部 一般廃棄物
第3章 ごみ収集と処理

8 令和5年度ごみ・資源物処理内訳（総括表）

①直営収集量 単位：t

区 分	区 域 旧宮崎市
燃やせるごみ	163
燃やせないごみ （金属類含む）	10
粗大ごみ	0
缶・びん	3
ペットボトル	3
プラスチック製 容器包装	6
乾電池・温度計	2
蛍光管	0
破碎処理困難物	0
小型家電	19
計	205

②委託収集量 単位：t

区 分		区 域 旧宮崎市	4 町	計
燃やせるごみ		50,724	13,302	64,026
燃やせないごみ （金属類含む）		2,248	501	2,749
粗大ごみ	可燃性	119	0	119
	不燃性	170	0	170
	計	289	0	289
缶・びん		2,844	709	3,553
ペットボトル		1,370	357	1,727
プラスチック製容器包装		3,095	752	3,847
古紙		6,999	1,239	8,238
衣類		900	187	1,086
乾電池・温度計		71	17	88
蛍光管		12	3	15
破碎処理困難物		11	2	13
家電4品目		36	0	36
廃パソコン		0	0	0
廃食用油		9	0	9
計		68,607	17,068	85,675

③直接搬入量 単位：t

区 分		区 域 旧宮崎市	4 町	計
燃やせるごみ		35,982	4,667	40,649
燃やせないごみ （金属類含む）		2,498	939	3,437
粗大ごみ	可燃性	1,238	392	1,630
	不燃性	951	316	1,267
	計	2,189	708	2,897
缶・びん		135	6	141
ペットボトル		44	1	44
プラスチック製容器包装		24	0	24
古紙		18	3	22
衣類		3	1	3
乾電池・温度計		0	0	0
蛍光管		0	0	0
破碎処理困難物		0	0	0
計		40,893	6,325	47,218

④総収集量（①＋②＋③） 単位：t

区 分	区 域		計
	旧宮崎市	4 町	
直営収集量	205	0	205
委託収集量	68,607	17,068	85,675
直接搬入量	40,893	6,325	47,218
総収集量	109,706	23,393	133,099

⑤資源化量 単位：t

区 分		区 域 旧宮崎市	4 町	計
缶 類		768	183	951
びん類		694	165	859
ペットボトル		1,056	266	1,322
プラスチック製容器包装		2,402	578	2,979
金属類		1,286	384	1,670
焼却溶融施設精製物		626	133	759
古紙・衣類		7,909	1,427	9,336
乾電池・温度計		72	17	89
蛍光管		17	3	20
家電4品目		36	0	36
廃パソコン		0	0	0
小型家電		19	0	19
廃食用油		9	0	9
計		14,893	3,156	18,049

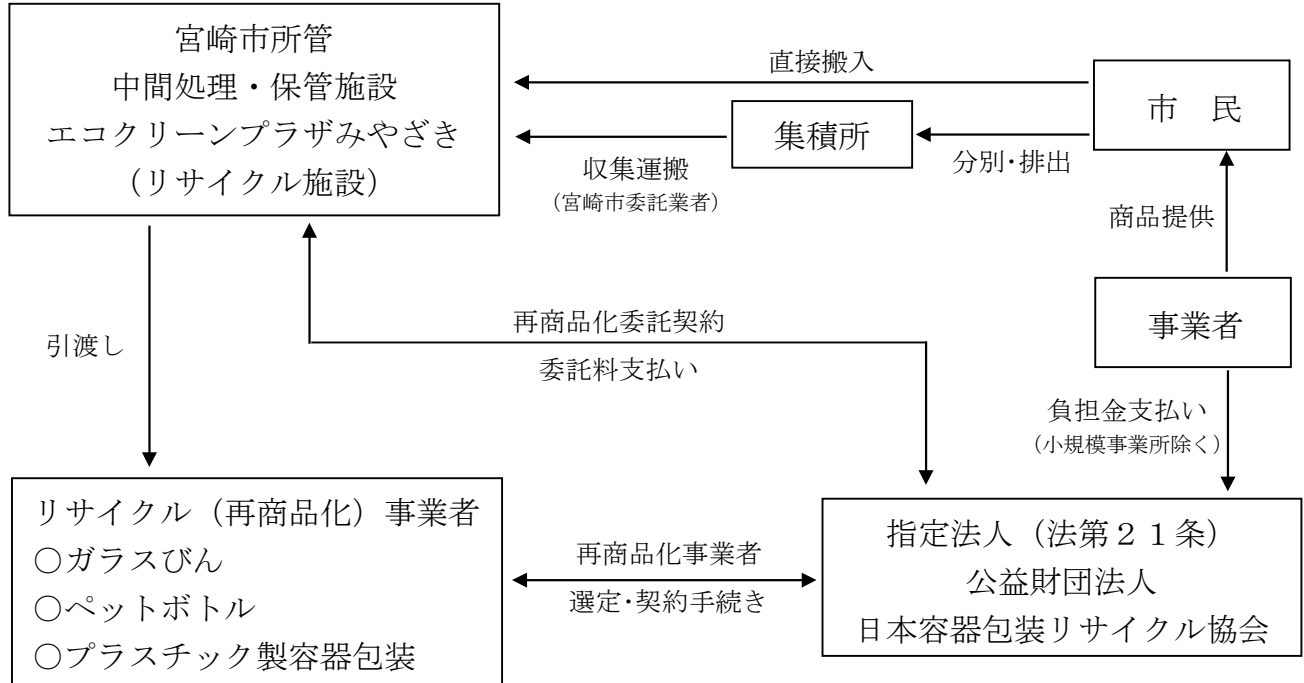
⑥集団回収量 単位：t

区 分	区 域 旧宮崎市
古紙	750
缶	30
びん	5
廃食用油	7
計	791

※四捨五入の関係で内訳と合計が一致しないことがある。

【参考】容器包装リサイクルの流れ

容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進に関する法律（平成7年法律第112号）は、ガラスびん、ペットボトル、プラスチック製容器包装のリサイクルを広域的に、かつ、効率よく行うための仕組みとして、指定法人による分別基準適合物の再商品化事業について規定しており、本市では以下の流れで処理を行っている。



【参考】資源物の中間処理施設と主な再生利用方法（令和5年度）

資源物の種類		再商品化事業者	主な再生利用方法
空き缶		—	空き缶：金属原料
カレット (ガラスびん)	無色	有限会社南久	ガラス原料
	茶色		
	その他	有価物回収協業組合石坂グループ	
ペットボトル		前半：西日本ペットボトルリサイクル株式会社 後半：株式会社井上商店	各種プラスチック製品 合成繊維
プラスチック製容器包装		日本製鉄株式会社	各種プラスチック製品
古紙・衣類		宮崎地区製紙原料直納協同組合 ・宮崎紙業(株) ・(株)大成紙業 ・(有)金田商店 ・(株)山崎紙源センター ・(有)ペーパーリサイクルシステム ・(株)寺松商店 ・(有)大成クリーン開発	古紙：紙製品（再生紙等） 衣類：リユース等
乾電池・温度計		J F E 条鋼株式会社	金属原料
蛍光管		株式会社ジェイ・リライツ	蛍光管原料